



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
コード番号 9708 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 宮新朋明

TEL 03-3504-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,825	4.4	1,470	31.8	1,537	30.1	1,017	34.1
27年3月期第1四半期	13,241	1.5	1,115	9.4	1,181	6.7	759	10.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,025百万円 (27.8%) 27年3月期第1四半期 801百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	17.16	—
27年3月期第1四半期	12.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	67,987	49,096	72.2
27年3月期	70,214	48,487	69.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 49,096百万円 27年3月期 48,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当の内訳 普通配当7円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	25,800	2.9	1,300	4.1	1,400	5.5	900	6.7
通期	55,200	2.7	4,300	10.3	4,500	9.5	2,700	11.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	59,400,000 株	27年3月期	59,400,000 株
28年3月期1Q	75,843 株	27年3月期	75,843 株
28年3月期1Q	59,324,157 株	27年3月期1Q	59,324,209 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策を背景に企業収益や雇用情勢が改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で進みました。

ホテル業界におきましては、新規ホテルの開業など販売競争が激化しているものの、政府による各種施策や円安を背景に訪日外国人客数が増加し、宿泊を中心に良好な経営環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、帝国ホテル本社のタワー30・31階客室を改修し、「プレミアムタワーフロア」としてより高品質なサービスの提供を開始いたしました。さらに、本年秋に迎える開業125周年及び来年3月に迎える帝国ホテル大阪の開業20周年を記念した各種商品を販売して積極的なプロモーション活動を行い、売上の拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.4%増の13,825百万円となり、営業利益は前年同期比31.8%増の1,470百万円、経常利益は前年同期比30.1%増の1,537百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比34.1%増の1,017百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比4.5%増の12,908百万円、営業利益は前年同期比29.1%増の1,432百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比3.8%増の922百万円、営業利益は前年同期比7.2%増の497百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し67,987百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し34,961百万円となりました。これは有価証券などが増加し、一方で、現金及び預金や繰延税金資産などが減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し33,025百万円となりました。これは減価償却により有形固定資産が減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31.0%減少し6,381百万円となりました。これは未払法人税等や賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比微増の12,509百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し49,096百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,381	21,307
売掛金	3,426	3,619
有価証券	6,735	8,766
貯蔵品	452	490
繰延税金資産	630	221
その他	1,201	565
貸倒引当金	△17	△8
流動資産合計	36,810	34,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,397	14,011
その他（純額）	4,621	4,645
有形固定資産合計	19,019	18,656
無形固定資産	1,263	1,282
投資その他の資産	13,121	13,086
固定資産合計	33,404	33,025
資産合計	70,214	67,987
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,246	1,067
未払法人税等	781	106
未払費用	1,978	1,705
前受金	1,001	1,167
賞与引当金	1,018	369
役員賞与引当金	47	14
その他	3,172	1,951
流動負債合計	9,245	6,381
固定負債		
退職給付に係る負債	7,335	7,350
資産除去債務	957	962
長期預り金	4,061	4,070
その他	126	126
固定負債合計	12,481	12,509
負債合計	21,727	18,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	45,769	46,371
自己株式	△89	△89
株主資本合計	48,543	49,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	800
退職給付に係る調整累計額	△831	△849
その他の包括利益累計額合計	△56	△48
純資産合計	48,487	49,096
負債純資産合計	70,214	67,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	13,241	13,825
材料費	2,826	2,977
販売費及び一般管理費	9,298	9,378
営業利益	1,115	1,470
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	11	7
その他	30	34
営業外収益合計	66	67
経常利益	1,181	1,537
税金等調整前四半期純利益	1,181	1,537
法人税、住民税及び事業税	4	91
法人税等調整額	417	428
法人税等合計	422	519
四半期純利益	759	1,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	759	1,017

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	759	1,017
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	49	24
退職給付に係る調整額	△7	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	42	7
四半期包括利益	801	1,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	801	1,025

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,357	883	13,241	—	13,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	12,357	888	13,246	△5	13,241
セグメント利益	1,110	463	1,573	△458	1,115

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,908	917	13,825	—	13,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	12,908	922	13,830	△5	13,825
セグメント利益	1,432	497	1,930	△459	1,470

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。